# アトミクラブ通信　　ＮＯ．１７４　２０２１年 5月

皆さま　こんにちは

木々の緑が鮮やかな季節になりました。新緑の５月をいかがお迎えですか。

■ 前回この通信をお送りしてそれほど日にちが経たない間に、コロナをめぐる情勢が目まぐるしく動いています。３月２２日に２回目の「緊急事態宣言」が解除になり、やれやれと思ったのも、つかの間、こんどは「まん延防止措置」が４月１３日に発令され、県を跨いでの移動の自粛や人との接触の機会をできるだけ減らすよう呼びかけられました。これで少しは感染が沈静化すると思っていましたら、こんどは変異ウイルスが猛威を振るい、感染拡大の波はさらに大きくなって関西圏では、もう医療崩壊に等しい状態で大阪、兵庫、京都の３府県に、そしてじわりじわり感染が広がりつつある東京都が加わり４都府県に４月２５日から５月１１日まで３度目の「緊急事態宣言」が発出される事態に至りました。

アトミクラブ事務局としては、引き続き今後の関東圏での感染の状況を見守りながら慎重に練習会の実施か否かを検討していきます。取りあえず５月１１日までの練習会やイベント活動を自粛いたしますのでご理解ください。今後の事としては、さらに練習会中止の延長もありえますので、これからもアトミクラブホームページ及び伝言板には注視していただきたいと思います。

■ アトミクラブの練習会は、コロナ禍において活動が制約を受ける中、４月１日から木々の緑が映える代々木公園にて練習会を再開いたしました。久しぶりの練習会は感染防止に注意を払いながら行いました。４月１日の練習再開日は、コロナ禍なので参加人数は少ないだろうと予測しておりましたがどうしてどうして、皆さん、しっかり練習の場に集まってきました。おそらく９０人を超える人数だったのではないかと思われます。８日の練習会では６時過ぎから突然の雷雨に見舞われ雨が降り止んだのは午後７時直前、雨宿りしていたメンバーの大半が練習を断念して帰途につく中、どうしても走りたい面々は濡れる走路で予定通りのメニューをこなしました。その数、およそ３０人。雨をもモノともしない皆さんのやる気のほどが垣間見られました。そして１５日は７０名近いメンバーで４００mのインターバルに臨みました。４月最後の２２日の練習も６０～７０人近くのメンバーでペース走をこなしました。結局、再開して４回目でまた自粛、中止となりました。制約のある中ですがみんなで走れる喜びを感じた一ヶ月でした。

■ ４月１日からアトミクラブ２０２１年陸上年度が始まりました。今年現時点での会員更新人数（年会費お支払い）は４月２２日時点で５１０名、アトミクラブで団体の陸連登録者は８８名になりました。年会費のお支払いは今後も練習会で申し受けるか、振替用紙での支払いもまだできます。お支払いがまだの方はご利用ください。

今年の５月中旬の「皇居レディース駅伝・東日本年齢別駅伝」はコロナ禍を配慮し中止になりました。次の機会を目指していきましょう。また例年６月上旬に実施している「越後湯沢合宿」もコロナウイルスの感染を避けるため今年も行わないことにしました。湯沢合宿は、これで２年続けての中止となります。残念です。いまは我慢、我慢の時ですね。

■ 記録収集変更についての報告です。過日、拡大事務局会議が開かれ、内容は今後のアトミクラブを見据えて世代交代を視野に事務局担当者の現作業の掌握と洗い直しに話し合いました。その一環として記録係の膨大な作業量を軽減する意味から、これまでのように広範囲な大会から記録収集し掲載するという作業は行わないことといたしました。皆さまの励みになっていた記録の

報告ですが今後はシンプルに衣替えして２０２１年度４月よりスタートいたします。皆さまからの積極的な記録報告を今後とも当伝言板にお寄せいただけますようお願いいたします。詳しくはホームページ、トピックス欄にある**「２０２０年度の年間記録集計および今後の記録収集についてお願い」**をお読みください。

■ ３月２５日に東京五輪・パラの聖火は福島Ｊビレッジを出発しました。コロナ禍にあって著名人の聖火ランナー辞退が相次ぐ中、粛々と歩を進めています。公道での聖火リレーを取りやめセレモニーだけ無観客で行う自治体も出てきています。「東京五輪・パラ」は開催か中止かで揺れる世論ですが、世界の国のさまざまな思いがこの聖火一点に凝縮されている気がします。コロナ禍で閉塞された世界のこの状況を打破するのはワクチンと特効薬、そして「東京五輪・パラ」の成功しかないと信じています。７月２３日の開催まで残すところ８０日余り、なんとか開催、成功に向けて希望の灯を繋げていってほしいものです。開催までまだまだ紆余曲折がありそうですがここも試練の時ですね。

■ ４月になってランニングとは直接関わりはありませんがスポーツ界において、コロナ禍で閉塞感が漂うこの日本に暗い雰囲気を吹き飛ばす明るい話題が相次ぎました。２人の日本人の活躍が日本のみならず世界の衆目を集めました。① 一つは水泳の池江璃花子さんの奇跡的な復活です。２年前の急性リンパ性白血病発症を乗り越えて一時は絶望の淵にあり、死も覚悟したという池江選手がなんと東京五輪代表選手に内定しました。競泳日本選手権で４冠を達成しました。まさに驚くばかりの回復力と強靭な精神力を持っての復活劇でした。凄い！の一言でした。「つらくても、しんどくても努力は必ず報われるんだなと思いました」の一言に重みがありました。まさに奇跡が起こったとしかいいようがありません。② もう一つはゴルフの松山英樹選手の活躍でした。日本人ゴルファーの悲願とも言うべき米国で開かれたマスターズ選手権において世界の強豪を抑え堂々優勝しました。追い上げや引き離なしなど大きな駆け引きと緊張感の中、最後までリードを守り抜き見事、優勝を成し遂げました。優勝の瞬間も派手なポーズはなく優勝インタビューも控えめで松山選手の人柄が感じられた瞬間でした。最終４日目の早朝は勝敗の行方に一喜一憂し寝不足になった人が多くいたとも聞きます。おめでとう！しげき～！

■「えっちゃん」こと袴田悦子さんがさる去る３月 18 日にお亡くなりになったとご主人の征男さんから会計の毛塚さんのもとに連絡がありました。（ご連絡をうけたのは３月３１日）

新しく入られた方には馴染みはないと思いますが、袴田悦子さんは 20 数年前にアトミクラブに入会して以来、すぐにクラブの会報の発送や会計を引き受けて下さるようになり、さらに織田フィールドの抽選会参加や合宿や駅伝などイベントでは欠かせない存在としてご尽力くださいました。また女子メンバーが少ない時代にクラブの母親役として女子メンバーが何の敷居を感じることなく入会できる雰囲気を作ってくれました。

「えっちゃん」は６年半前にふる里の青森に帰り、近隣の保育所で幼児たちの成長を見守り、楽しく過ごしているとお便りで聞いていました。遠い青森の地からアトミクラブの活動をいつも気にかけていただいていました。ここ半年はがん治療のため、入退院を繰り返していたとご主人からのお話にありました。今回のあまりの突然の訃報に言葉もありません。合掌！

**ここに生前の「えっちゃん」を偲び、こころからご冥福をお祈り申し上げます。**

**アトミクラブの活動を通じてともに走り、語り、笑い、飲んだり、歌ったりした日々が忘れられません。「えっちゃん、」長い間、クラブを支えてくださり本当にありがとうございました。**

「えっちゃん」への追悼の言葉をたくさんのメンバーから伝言板に寄せられています。ホームペ

ージ《 **袴田悦子さん（えっちゃん）が逝去されました** 》のコーナーにまとめています。ぜひあり日の「えっちゃん」を偲び読んでいただければ幸いです。

■ 去る2月２８日、歴史と伝統を誇る「びわ湖毎日マラソン」は有終の美を飾って終えた余韻が消えないうちに、また伝統あるマラソン大会が姿を消すことになりました。「福岡国際マラソン」です。「福岡国際マラソン」は今年１２月５日の大会を持ってその使命を終えます。毎年、１２月第一週日曜日の風物詩としてテレビ中継が映し出されていた、あの博多の街の光景がもう見られなくなります。「福岡よ、びわ湖に続いておまえもかっ！」と言いたい気持ちになりました。古い話を持ち出し恐縮ですが、「福岡国際マラソン」は「びわ湖毎日マラソン」と並んでこれまで多くの名勝負を生んできました。クレイトンが佐々木精一郎選手を制して２時間１０分の壁を初めて破ったのはこの福岡でした。さらにその後、瀬古選手、宋兄弟の一騎打ち、イカンガー、伊藤国光選手、喜多選手、中山選手などの活躍で世界のマラソンの表舞台として「福岡」が認知されました。藤田敦史選手の日本人初めての６分台もこの地で出ました。アトミの主力メンバーも草創期からこの福岡を目指して力を注いできました。福岡国際マラソンがなくなることで、また伝統のマラソンが姿を消し寂しくなります。せめて今年１２月の最後の大会は素晴らしいタイムで優終の美を飾ってほしいものです。

---

**■＜練習会報告＞　２０２１年３月～４月の練習会の内容**

| | |
|---|---|
| ３月　４日 | 緊急事態宣言により練習会中止 |
| ３月１１日 | 緊急事態宣言により練習会中止 |
| ３月１８日 | 緊急事態宣言により練習会中止 |
| ３月２５日 | 織田フィールド閉鎖により練習会中止 |
| ４月　１日 | 代々木公園　１０００m×６本～８本 |
| ４月　８日 | 代々木公園　２０００m×３本～４本 |
| ４月１５日 | 代々木公園　４００m×１２本～１８本 |
| ４月２２日 | 代々木公園　１．１６５m周回ペース走７周～１０周 |
| ４月２９日 | 休日に当たるため練習会中止 |